

詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/)をご覧ください。



「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介



山刀伐峠風景林 (山形県尾花沢市・最上町)

【概要】

山刀伐峠は、「奥の細道」で知られる俳聖・松尾芭蕉が、最上町から尾花沢市に向かう際に地元の若者による案内で越えた峠であり、昼間でも真っ暗で、山賊による襲撃が多いことから、芭蕉も冷や汗をかきながら峠を越えたと伝えられており、奥の細道の行程の中で最大の難所でした。

現在では山刀伐峠周辺は整備され、山頂へは車で行くことができ、山頂付近にはトイレや駐車場、休憩所、散策路も整備されていますので、初心者でも気軽に芭蕉の旅路を散策することができます。

【見どころ】

この峠の全長は約4.0km、標高は約470mで、最上町と尾花沢市の市町境に位置しています。山頂には「Uni-Voice (ユニボイス)※」対応看板が設置されており、スマートフォンを利用すると英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語・タイ語の4言語で看板の内容を確認することができます。

散策路はなだらかで、ブナ林が広がる豊かな自然を満喫しながら進めば、子宝地藏や子持ち杉、奥の細道石碑、あずま屋などがあります。春の色鮮やかなヤマツツジ、夏のみずみずしい木々、秋の賑やかな紅葉、初冬の物静かな初雪など四季の彩りの中、松尾芭蕉が辿った歴史の道を散策してみたいいかがでしょうか。(ただし、12月～3月の冬期間は降雪、積雪のため利用できません。)

毎年8月には「山刀伐峠越え体験ツアー」が地元地区公民館主催で行われます。峠越え案内役には地元講師が務め、参加者は松尾芭蕉の衣装を身にまとい、芭蕉のたどった山刀伐峠の道を歩きます。

また、「奥の細道」の様々な歴史資料は、銀山温泉(山刀伐峠より南へ約18km)近くにある「芭蕉・清風歴史資料館」に展示されています。

※新型コロナウイルス感染症対策の影響等もございますので、施設の開園やイベント開催状況については、事前にHP等で情報をご確認ください。

尾花沢市公式HP(観光情報)

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/5.html>



※Uni-Voice(ユニボイス)とは
JAVIS(日本視覚障がい情報普及
支援協会)が開発したスマート
フォン(アプリ)に対応した音声
コード。コードをアプリで読み
込むと、看板の内容を外国語の
音声と文字で確認することがで
きます。

【アクセス】

○車の場合

JR 奥羽本線大石田駅(山形県北村山郡大石田町)から自動車で約30分(尾花沢口)



山頂付近のユニボイス対応看板



子持ち杉と子宝地藏尊



春のヤマツツジ



山刀伐峠越え体験ツアーの様子



2021
No.167

【表紙の写真】
厳寒の戸隠連峰

Contents

- 03 特集 新たな森林・林業基本計画に向けた検討状況 Part1 ～持続的な森林・林業・木材産業を目指して～
- 08 海外・現場最前線からのお便利 「自然豊かなITの街で」
- 10 林木遺伝子銀行110番 里帰りした後継樹を訪ねて
- 12 日本の林業遺産を知ろう! 米沢市の山との暮らしを伝える遺産群:草木塔群と木流し
- 14 TOPICS 01 無花粉スギ、無花粉ヒノキの開発・普及 ー花粉の少ない森林をつくるー
- 16 国有林野事業の取組 令和2年度国有林野事業業務研究発表会